

経営比較分析表（令和4年度決算）

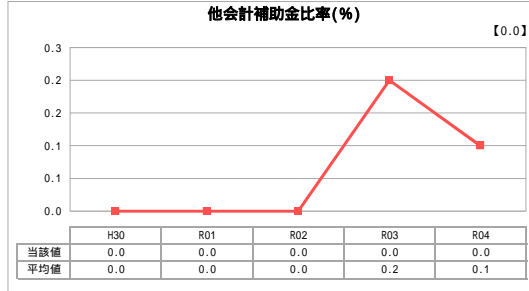
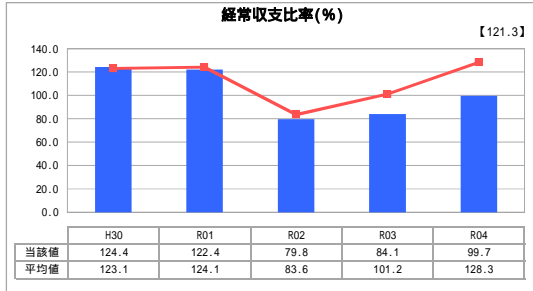
兵庫県洲本市 洲本バスセンター前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	駐車場整備事業	-	A 1 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
99.3	届出駐車場 其他駐車場	立体式	12	

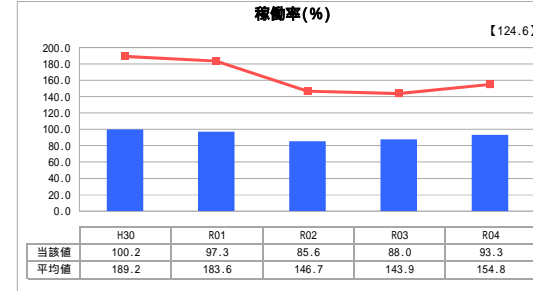
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	11,691
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
451	100	無

グラフ凡例
当該施設値(当該値)
類似施設平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

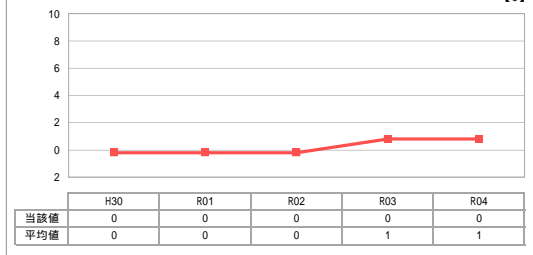
1. 収益等の状況について
 令和3年度決算と比較すると経営状況は改善傾向にあり、経常収支比率は99.7%まで回復した。しかし、経常収支比率の基準となる100%を僅かに下回っていることから、引き続き事業収益の増加と事業費用の圧縮に向けた取組を行いながら、経常収支比率の改善を図る必要がある。

2. 資産等の状況について
 本駐車場は駐車場管理用の小屋を有している。有形固定資産減価償却率は50%程度となっているものの、精算機やその付帯設備について将来的な改修等を検討していく必要がある。

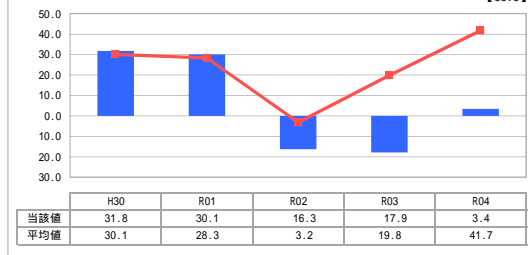
3. 利用の状況について
 令和3年度決算と比較すると稼働率は5.3ポイント増加した。
 利用者については、土日祝日は観光客や島外に買い物、レジャー等に向かう一般利用者が多く、平日は近隣施設の固定利用者が大半を占めている。
 本駐車場は中心市街地に立地し、島内路線バス及び島外への高速バスのターミナルが併設しており、また、当市営駐車場では最も多い収容台数のため、利便性の高い駐車場である。

全体総括
 稼働率の回復が低調ではあるものの、中心市街地内という好立地条件で近隣にバスターミナルやスーパーなどの施設があることに加えて、県立医療センターや市健康福祉館で実施する特定検診や各種イベントなどがある際には利用しやすい駐車場となっているため、観光客やレジャー利用者などの新規利用者や短時間利用者の利用拡大を図ることで経営改善が期待できる。今後も安定した経営を図るため、利用拡大につながるサービスを検討するとともに、歳出抑制の対策に取り組んでいく。

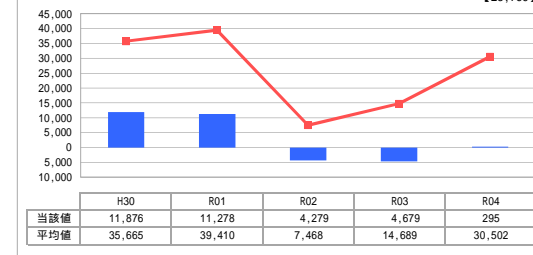
駐車台数一台当たりの他会計補助金額(円)



売上高GOP比率(%)

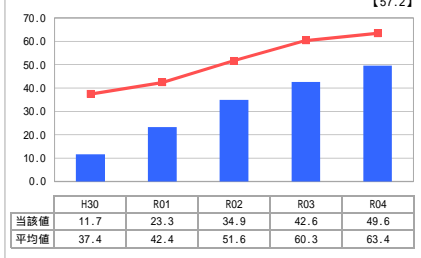


EBITDA(千円)



2. 資産等の状況

有形固定資産減価償却率(%)



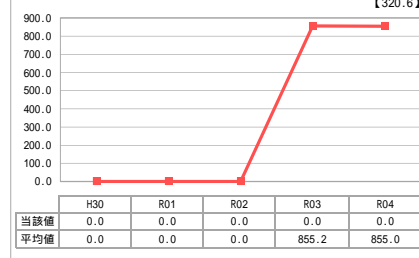
敷地の地価(千円)

30

設備投資見込額(千円)

1,000

累積欠損金比率(%)



企業債務高対料金収入比率(%)

